

あゆみ



2012年3月

筑波学院大学
国際別科

目次

国際別科学年暦 2011 年度	p. 2
国際別科の学生	p. 3
わたしたちの学生生活	p. 5
日本語作文集	p.12
ブログ作品集	p.17
読解作品集	p.25
思い出	p.27
先輩からのメッセージ	p.28
教員からのメッセージ	p.30



がくねんれき
国際別科 学年暦 2011年度

4月	入学式、オリエンテーション(4/15)
	春学期授業開始(4/18)
7月	春学期授業終了(7/22)
	期末試験(7/25、26)
	学外研修(7/28)
8月	夏休み(~9/21)
	修了式(8/8)
9月	入学式、オリエンテーション(9/22)
	秋学期授業開始(9/23)
10月	KVA 祭(10/22、23)
11月	文化研修旅行(11/12)
1月	社会参加活動発表会(1/23)
	秋学期授業終了(1/30)
	期末試験(1/31,2/1)
3月	修了式(3/8)



わたしたちの学生生活

KVA 祭（学園祭）

留学生日本文化研修旅行

筑波山クリーンアップ大作戦

忘年会 2011



KVA 祭(学園祭)

10月22日(土)、23日(日)に行われたKVA祭(学園祭)。別科の学生たちも展示に参加することになりました。

どんな内容にするか、いろいろと話し合った結果、「日本の不思議な物」「外国人から見た日本人の考え方」「外国人から見た日本の矛盾」「国際結婚について」という4つのテーマについて学生達が手分けをして調べ、その内容を「外国人から見た日本の考え方」という大きなタイトルの掲示物にまとめることになりました。

<ただいま作業中>



<エギィさんの書いた文章にブンキットさんが絵を添えてくれました>



<これは何かな?>



<きれいに掲示します>



まだー!

ねえ、
できたー?



作品は、学部の留学生の掲示物などと一緒に 2208 教室に展示しました。別科生の春夏秋冬も作成し、これまでの文集も見られるようにしました。当日はたくさんのお客さんが掲示物を見て、いろいろなコメントを残してくれました。



留学生日本文化研修旅行

毎年恒例の留学生日本文化研修旅行が、11月12日(土)に行われ、国際別科の学生も、大学学部の留学生と一緒に参加しました。

当日は、おだやかな小春日和。バスに乗って向かったのは、茨城県の南部です。

まず訪れたのは、国の重要文化財である水海道風土博物館坂野家住宅。とても大きくてりっぱな豪農屋敷で、たくさんの部屋がありました。案内の方が、どの部屋が何に使われていたのかということをして、ていねいに説明して下さいました。



次に訪れたのは、常総市の佐古染色工芸館です。ここではハンカチやマフラーの藍染絞りを体験しました。

日本食レストランでお昼ご飯を食べた後は、守谷市のアサヒビール工場に移動します。大スクリーンで映像を見ながら説明をうかがった後、大きな工場をガイド付きで見学しました。最後にはジュースやビールの試飲もありました。



日本の古い文化と新しい文化、両方を体験することができて、よい1日でしたね!

筑波山クリーンアップ大作戦

別科には、「社会参加活動」という授業があります。この授業は、学生が大学の行事や地域の活動に参加し、いろいろな人と一緒に話したり、何かをしたりすることで、日本語の力や、日本語を使って何かをする力を高めることを目的としています。ここでは、その活動のうち、12月に行われた「筑波山クリーンアップ大作戦」に参加した時のことを紹介します。

「筑波山クリーンアップ大作戦」は、ウォーキングを楽しみながらゴミを拾い、筑波山をきれいにする活動で、毎年12月に「筑波山クリーンアップ大作戦実行委員会」によって行われているものです。今回、5名の別科生が、社会参加活動としてこのイベントに参加しました。

当日はとても気持ちよく晴れていましたが、筑波山は前日降った雪で真っ白！雪の中、ゴミを拾ったり、インストラクターの方のお話をうかがったりしながら、山頂を目指しました。



< 目指せ山頂！ >





<雪があちこちに残っていて
息が白くなります>



<インストラクターの方から説明を受ける>



山頂まで登るのはとても大変だったけれど、その分、終わった時には大きな達成感を味わうことができました。

当日の活動の様子は、1月23日（月）に行われた社会参加活動の報告会（学部との合同）で発表しました。

忘年会 2011

国際別科の学生と先生たちで、2011年12月21日に忘年会をしました。幹事はエギィさんとクレアさん。お店を選んで予約もして、メニューも決めました。

当日は、みんな自分の家族や恋人といっしょにきたので、部屋の中はギュウギュウ。でも、話題が多くてとても楽しかったです。

この日は、ブンキットさんも来ました。仕事が終わってから来たブンキットさんは、スーツを着ていました！そして、もうすぐメキシコに帰るイグマールさんも来てくれました。2人が来てくれて、みんなとても喜びましたが、一番うれしそうだったのはルさんでした。よかったね、ルさん。久しぶりに会った仲間とも、たくさん話しました。



忘年会がお開きひらになった後は、カラオケにも行きました。日本語の歌だけではなく、自分の国の歌も歌いました。

忘年会もカラオケも、みんなが親しくなるためのいい機会でした。また来年も、国際別科で日本語の勉強をがんばりましょう！

日本語作文集

国によって違う

コミュニケーションの取り方

ル・サイウェイ

中国の南の方でよく見られる住宅

ル・サイウェイ

大切な教育

タン・ブンキット

座右の銘

タン・ブンキット



国際別科には、作文の授業があります。作文の授業は読解の授業とつながっていて、同じテーマで学習しています。読解で文章を読み、知識を得た後、自分のことや自分の国について考え、作文を書いています。ここでは、修了生が作文の授業で書いたものをご紹介します。

国によって違うコミュニケーションの取り方

ル・サイウエイ

コミュニケーションとは、人が自分の感情、意志、思考、知識などを相手に伝えるためにするもので、相手はこれを受け取ります。しかし、国によって、文化や習慣などが違うので、コミュニケーションの取り方も違います。

例えば、非言語コミュニケーションについてです。私の国では、いつでも握手することでコミュニケーションをとりますが、日本ではおじぎすることでコミュニケーションを取ります。私の国ではおじぎは、謝る時と、とても感謝する時にしか使いません。日本では感謝する時も謝る時も、あいさつする時も、いつでもおじぎをしてコミュニケーションを取ります。それから、数を表す時、中国では指の本数だけではなく、指で作る形でも表しますが、日本では指の本数だけで表します。

また、言語コミュニケーションについても、いろいろ違うところがたくさんあります。例えば、中国では、しばらく会えなかった友だちに会った時、大きい声で友だちの名前を呼ぶことで、相手に自分のうれしさや喜びを伝えます。しかし、日本では周りの人に迷惑をかけると考えるせいか、大きい声で名前を呼んでいるのを聞いたことがありません。それから大人でも仲が良い場合は友だちと腕を組んで歩きます。しかし、日本では、大人同士が腕を組んで歩いているのを見たことがありません。

私が日本に来たばかりの時、ある日、友だちと一緒にデパートに行きました。デパートをまわっていた時、偶然、日本語の先生に会いました。私は嬉しくて先生の名前を呼びながら、手で先生の腕を触ろうとしたら、先生は驚いて、そして私から離れました。顔にも驚きが表れていました。私はとても不思議だと思いました。

今は少しずつ日本人の習慣やコミュニケーションの取り方が分かるようになりました。やはり、国によって習慣が違うので、コミュニケーションの取り方も違います。もしこれから日本に来る外国人にアドバイスをするなら、日本に来る前に、日本の習慣や文化などをいろいろ調べて知っておいたほうが良いと思います。そうすれば、相手に対する失礼や誤解もなくなり、コミュニケーションがもっと上手に取れます。そして、日本での生活がもっと楽しくなると思います。

中国の南の方でよく見られる住宅

ル・サイウェイ

私の国では、地域によって人気のある家のタイプが違います。私の出身は中国の南の方なので、人気のある家のタイプは一軒家ですが、北の方の人にはマンションが人気ようです。南の方では、人口が過密で住宅用地も少ないので、家と家がとなり同士つながっているメゾネットタイプの住宅が多いです。このような家は、この地域でよく見られます。この家はコンクリートでできていて、一つの住宅は3、4階建てで、240～320㎡ほどの面積があります。一戸につき6～8部屋があり、一つの家庭では3人ほどが暮らしています。

この家に入る時は玄関で靴を脱ぎません。足の病気などに感染しないようにそうしていると聞いたことがあります。1階は玄関に入るとお客さんや友人などを接待する部屋があります。この部屋の奥にトイレ、階段、下駄箱などがあります。階段の横には台所があります。1階は靴のまま入るので、掃除する時は床に水をまきます。そのため、床はだいたい大理石などの石で作られています。2階から上は家族の空間で、清潔に保つために靴を脱ぎ、スリッパをはいて生活をします。また、2階にはふろ場と洗面所とトイレがあり、これらは一か所にまとまっています。

このタイプの家は、庭がほとんどありません。そのため、屋上は平らなコンクリートで作られています。屋上で洗濯物を干したり、植木鉢を育てたりします。日本では地震が多く、また湿気も多いので2階建ての木造の家が多いですが、中国の南の方では地震がほとんどないので、このようにコンクリートで建てられた3階建て、4階建ての家が多いです。

国によって、家を建てる材料や構造、雰囲気などが違い、環境に合わせていろいろと工夫がされていて、とてもおもしろいと思います。

大切な教育

タン・ブンキット

私が子どもの時、家の教育では責任感を身につけることが一番大切でした。小さい時から、中学生時代の15、6歳まで、両親はとても厳しかったです。

父にとって、社会で生きていくための教育が一番大切でした。

「人はどんなに頭がよくても、人として基本的な性格がよくなければ、その人はだめです。」

この言葉を、父は何回も私たち兄弟に言いました。子どもの時、人生の道理を父から学びました。

父は言葉だけではなく、自分の行動でも示しました。例えば夫として仕事を一生懸命して、家事も手伝って、そして、私の母のこともよく考えました。父は息子として自分の両親の世話もして、とても優しい人でした。父としては厳しい人でしたが、私たち兄弟のことをいつも心配して、さらに私たちの育児も手伝ってくれました。父だけではなく、母も日常生活で、どうやって責任感のある行動を取るかを教えてくれました。例えば、遊んだあとは、ちゃんと片付けること、そして、食事の後の片付けなど家事を手伝うことです。このように、私の責任感と社会で生きていくためのトレーニングが、15、6歳までずっと続きました。

人にとって、責任感を身につけることは大切だと思いますが、責任感だけでは十分ではないです。忍耐力、寛容性、勤勉さ、自主性とコミュニケーション能力などもとても大切だと思います。ですから、学校教育も大切ですが、どう生きるかを教えることは、もっと大切だと思います。例えば、どんなに頭がいい人でも、人と人とのコミュニケーションができない人は、仕事も生活も難しいです。こういう人は成功したと言えますか。私はそうは思えません。

子どもの教育は学校の責任だけではないです。親たちにも責任があります。子どもが社会に入る前には、いろいろな知識が必要です。この人生と学校教育の知識を子どもに与えるのは、私たち大人の責任です。そして、この教育の一番いい教え方は、親が自分の行動で示すことだと思います。

座右の銘

タン・ブンキット

私の「座右の銘」は何でしょうか。「座右の銘」。これは、人の人生において本当に大切な言葉だと思います。実は、今まで私には、座右の銘はなかったと思います。毎日、忙しい生活の中で、もし「座右の銘」があれば、生活の目標はもっと明確に、そして生活の道も歩きやすいかもしれません。しかし、もしかすると、「座右の銘」がある人は、生活の信念と考え方が堅くて、全然柔軟ではないかもしれません。とにかく人によって、何がよくて何が悪いかは違います。そして座右の銘に対する考え方も違います。

私には「座右の銘」はありませんが、好きな言葉が二つあります。一つは「不便」。読み方は「ボウペン」です。漢字ですが、日本語にはない言葉だと思います。「ボウペン」は中国語の方言の1つ、福建語です。日本語では、「しょうがない」と同じ意味です。母は福建系ですからこの言葉をよく知っています。私も中学生の時、友だちとよく使いました。先生が厳しかったり、宿題が多い時はいつも「ボウペン」と言いました。軍隊に入った後は「ボウペン」を前よりもっともっと使いました。軍の上官は鬼のように厳しかったので、トレーニングが辛い時や罰せられることがあった時など、しょうがない時に「ボウペン」とよく言いました。今でも生活がうまくいかない時、ときどき言います。

もう一つの言葉は、空手の練習からの言葉です。「押忍」ということばです。16歳の時に、空手に初めて参加して知りました。「押忍」の本当の意味は、困難に負けない精神だと思います。「押忍」はこの意味だけではなく、道場に入る前にも「押忍」と言います。そして誰かと目があったら「押忍」とあいさつします。空手のトレーニングの前に「押忍」、トレーニング中にも「押忍」、トレーニングが終わってからも「押忍」と言います。ですから、16歳の時から今までずっと「押忍」はよく使う言葉の1つです。

もし毎日の生活の中で「座右の銘」が必要だとしたら、私は「押忍」が一番いいと思います。やはり、日常生活で「困難に負けない精神」はとても大切です。「押忍」は自分に一番ぴったりの言葉です。空手だけでなく、生活の中にも「押忍」の精神が必要です。

ブログ作品集

不思議に思ったこと	ル・サイウェイ
国際結婚のこと、知っている？	タン・ブンキット
おもしろくて不思議な下駄	ル・サイウェイ
日本人はなぜ会社や友達などの付き合いに妻を連れて行かないのでしょうか	オユウー・エルデム
KVA 祭に参加して	ドン・ウェンリン
「保守」と	サマーズ・クレア
「女子高生のミニスカート」	



国際別科には「にほんご life@つくば」というブログがあります。学生達は「日本の社会」、「社会参加活動」という授業において、様々なテーマでブログの記事を書き、自分の考えや体験を日本語で発信してきました。ここではその一部を紹介いたします。

国際別科ブログ「にほんご life@つくば」:

<http://tgu-bekka.blogspot.com/>

不思議に思ったこと

ル・サイウェイ

初めて日本に来たころは、毎日電車で学校に通っていました。ある日の朝、電車に乗って空いている席に座りました。私が乗った次の駅で女子高校生が乗ってきて、私の前の席に座りました。女子高校生は短いスカートで長いソックスをはいていました。今は冬なのに、そんな格好をしているのは寒くないのかなと思っていたら、女子高校生は大きいかばんの中から小さいかばんを一つ取り出してあけました。中にはいろいろな化粧品が入っていました。

「ええー、女子高校生なのにどうしていろいろな化粧品を持っているのだろう」と思っていたら、彼女は化粧を始めました。電車が動いているのにその女子高生は目や眉毛や顔などを上手に化粧しました。

高校生でもきれいになればみんなに好まれるでしょうが、どうして電車の中で化粧をしなくてはならないのか。不思議だと思いました。女子高校生が電車の中で化粧をすることは、日本では社会の問題であるそうです。

(2011年6月1日掲載)



国際結婚のこと、知っている？

タン・ブンキット

皆さん、国際結婚のこと、知っている？ 日本人と外国人の結婚の情報を、みなさんはどのくらい知っていますか。21世紀になり、世界中のいろいろな国がほとんどつながりましたから、国際結婚もどんどん増えています。日本人の国際結婚も例外ではないです。以下、日本人と外国人の結婚について集めた情報です。皆さん、楽しんで読んでみてください。

【日本人と外国人の結婚の数(2010-2011)】

【日本の有名人の国際結婚】

夫が日本人、妻が外国人	妻が日本人、夫が外国人
2000年 28,326人	2000年 7,937人
2005年 33,116人	2005年 8,365人
2008年 28,720人	2008年 8,249人
2009年 26,747人	2009年 7,646人
2010年 22,843人	2010年 7,364人

2001年	中村江里子さん、フランスの実業家と結婚。
2005年	井上晴美さん、カナダ国籍でメキシコ系移民、フリーターのルベン氏と結婚。
2007年	寺島しのぶさん、フランス人のアートディレクター、ローラン・グナシアさんと結婚。

【国際結婚のいい点と悪い点】

いい点	悪い点
<p>毎年、夫婦両方の地元に戻る時、海外旅行ができます。</p> <p>けんかする時、言葉が違うから、自分の言葉を使えば相手はあまりわからず、大変なことが起こりにくいです。</p> <p>夫婦の文化が違うので、学ぶことが多くて楽しいです。</p> <p>国際結婚家庭の子供たちは、バイリンガルになれます。</p>	<p>言葉が違うので、初めは夫婦の間でもコミュニケーションが難しいです。</p> <p>言葉が違うので、夫婦両方の家族は、コミュニケーションが上手にできないことが多いです。</p> <p>文化が違うので、けんかになりやすいです。</p> <p>文化が違うので、子供の育児方針についてけんかすることがあります。</p>

おもしろくて不思議な下駄

ル・サイウェイ

今年はクラスの友達と一緒に学園祭に参加しました。「外国人から見た日本の不思議さ」について、ポスターをつくりました。国によって日本の不思議さの感じ方が違うので、みんなで分けて不思議な物やいろいろな考え方について相談しました。

私が興味をもったのは、「下駄」です。以前、主人の実家でお父さんが散歩から、帰ってきたときのことで。遠くから、変な音が聞こえました。何かかなと思ったら、お父さんの下駄の音でした。興味があったので、お父さんの下駄をはいてみたら、歩きにくいし、変な音が出るので、おもしろくて不思議だなと思いました。今回のテーマを聞いたとき、この下駄のことを思い出したので、「下駄」について、いろいろ調べました。



下駄は日本の伝統的な履物です。足を乗せる木製の板に、歯と呼ばれる接地用の突起部を付け、眼と呼ばれる穴を3つ開け、そこに鼻緒を通して、足の親指と人指し指の鼻緒を挟んで歩きます。はいて歩くと「カランコロン」と離れていても遠くから音が聞こえてきて、おもしろいです。それから、下駄で天気占いができます。下駄を蹴り上げて落ちた形で占います。上下が正しければ晴れ、逆さまなら雨、横なら曇りということです。

学園祭をきっかけに、日本の伝統文化の一つを詳しく調べることができました。これからも、何かをきっかけにもっと日本のことを知りたいです。

(2011-11-30 掲載)

日本人はなぜ会社や友達などの付き合いに 妻を連れて行かないのでしょうか

オユウー・エルデム

日本では仕事の関係だけではなく、人々のさまざまな付き合いがどの国よりも多いと思います。例えば、町内、同級生、友達などの関係があります。

付き合いと言ってもその中でいろいろなやり方の集まりがあります。例えば、祭り、忘年会、新年会、打ち合わせ、待ち合わせ、飲み会、何かを祝うパーティ、お祝いなどがあります。

日本人は団体行動が好きだと思います。なのに、その中で子供の幼稚園や小学校などの関係、それから兄弟や本当の近い親戚の結婚式以外、夫婦として参加することはあまりありません。

妻を連れて行くと他のメンバーにどう思われるでしょう。日本人は仕事中はとても親切で、まじめですが、職場を出ると変わって行きます。遊びが大好きなのでしょうか。飲み会では楽しそうにさわぎます。1軒だけではなく、つづけて飲みに行きます。お酒が大好きなのかも知れません。普段は恥ずかしがりやで、まじめに見えますが、酒を飲むとびっくりするぐらい変わります。ただ飲み会に誰かの妻がいるとおとなしく、短い飲み会になってしまいます。

日本人の妻は厳しくて、みんなが緊張するのでしょうか、それともメンバーは1つの家族、という考えで、妻のことを同じメンバーに入れたくないのでしょうか。私は妻も同じメンバーだと思って、一緒に楽しむほうがいいと思います。そうすれば妻は主人のことがよく分かるようになって安心するし、夫婦の関係ももっと良くなるのではないのでしょうか。皆さんはどう思いますか。

(2011-11-30 掲載)

KVA 祭に参加して

ドン・ウェンリン

今年のKVA祭に参加しました。私はクラスの友達と一緒にKVA祭に展示するために掲示物を作りました。そのテーマは「外国人から見た日本の不思議さ」です。最初、クラスでこのテーマについて、皆で自分の意見を出して、討論しました。それから、詳しい内容に関して、インターネットで資料を調べたり、自分の経験についてもう一度話し合ったりしました。私の担当した部分は「日本の不思議な物」です。インターネットで探した資料と写真を掲示物で紹介しました。

例えば、日本の布団カバーにはなぜ大きな丸い穴が空いているのでしょうか。その理由は、布団の柄を見せたいし、取り外しやすいし、洗濯しやすいからです。一番の答えは、生産するとき生地の無駄が少なくできて安く提供できるからです。また、日本の自動販売機は、何でも売っています。例えば、電池、お花、傘、雑誌、卵、お米などです。それから、ペットのために作った飲み物とかペット用のトイレ袋があります。さらに、日本のトイレは世界で一番「親切」です。女性用のトイレには「音姫」というものがありますから。



写真 2 枚 : Wikipedia

私たちの掲示物のほかの内容は「外国人から見た日本人の考え方」と「外国人から見た日本人の矛盾」と「国際結婚について」です。その中で、日本人の考え方について、私の意見を述べています。どうして日本人の会社の活動には、例えば新年会や飲み会や忘年会などには、家族を連れて行けないのでしょうか。私自身を例にとると、私の主人は日本人です。時々主人は会社の活動に参加します。私はいつも主人の同僚たちに会いたいですから、主人に「会社の活動と一緒に参加できませんか。」と聞きます。でも、主人はそれは無理だと言います。たぶん日本では、会社の活動で話すとき、社

員の家族がいると、会社に関する話題がちょっと難しくなるからだと思います。皆さんは、このような疑問を持っていますか。そして、その理由はなんだと思いますか。(2011-11-6 掲載)



↑当日の展示物の様子。お客さんがコメントしてくれました。

「保守」と「女子高生のミニスカート」

サマーズ・クレア

「保守とはなんですか」という質問をされたら、どうやって答えればいいのでしょうか。簡単に説明したら、保守とは古い方法を守ることでしょう。私の保守のイメージはいくつかありました。例えばルールを守ったり、伝統を守ったり、お年寄りを尊敬したり、あまり自由がないことだと思いました。その立場からすると、日本は一般的に保守的な国だと思っていました。

しかし、女子高生のミニスカートは保守に関係がありません。ミニスカートをはいている人はルールを守っていますか。ミニスカートは伝統的ですか。お年寄りはミニスカートに賛成ですか。自由のない所で、そんな短いスカートをはくのはへいきですか。この質問の答えは全部「いいえ」でしょうか。私はこれについてよく考えましたが、なかなかいい解決ができませんでした。そして、これは日本の一つの矛盾だとおもいました。

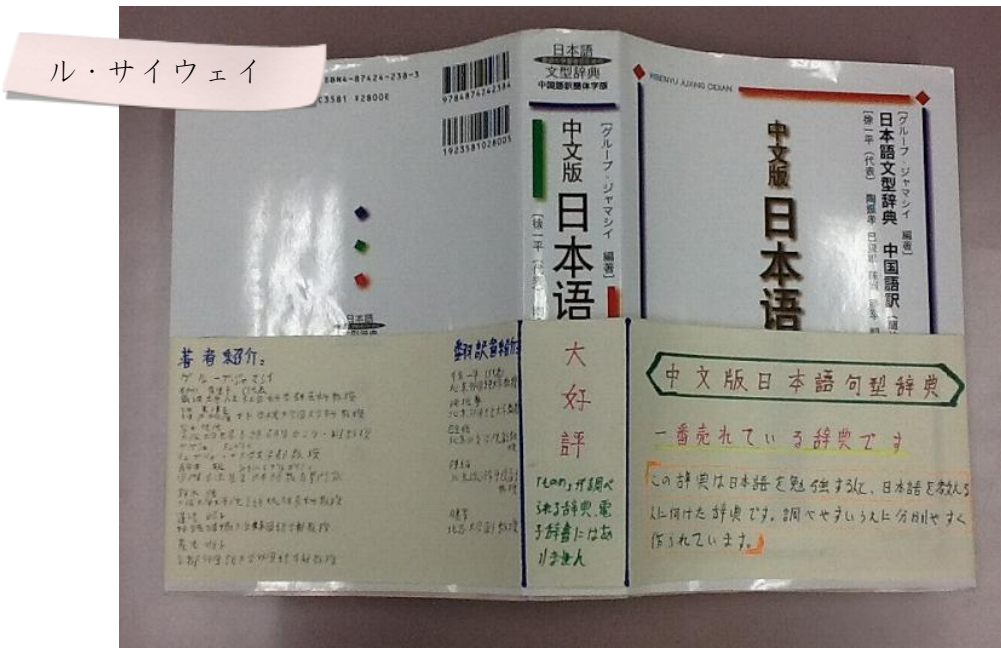
この前、学園祭でポスターを作りました。そのポスターに私は日本の矛盾について少し書きました。すると、とても面白いコメントを貰いました。「保守的だからみんな同じかっこうをするんだ。」というコメントでした。これには本当に考えさせられました。ミニスカートという服はリベラルな国の印だけじゃなくて、反対側の保守的な国の印でもありますか。私は、ミニスカートは自由を表すこと、ルールを守らないこと、お年寄りの話を無視することだと思いました。でも、その人のコメントによると、女子高生は保守的な自由がない考えを持っているから、ミニスカートをはきます。つまり、「ほかの生徒のスカートは短いから、私も短いスカートをはかなきゃ」と考えるのです。この考えかたは、やっぱり自由がなさそうです。もし本当に自由があつたら、女子高生は色々な長さのスカートやズボンをはくことにするのではないのでしょうか。

では、保守とはどういうことでしょうか。いくら保守について説明しても国によってその意味が違うみたいです。本当に世界は面白いです。私の目から見ると矛盾だと思いますがその国の人には当たり前だと思うかもしれません。もっと、視野を広く持ちましょう。

(2011-12-24 掲載)

読解作品集

読解の授業で本の帯を作成しました。帯を作成するには、その本の内容をよく理解していなければなりません。伝えたい内容を短くまとめ、分かりやすく書くことも重要です。この本を買ってみようかな…と思わせる、別科生の力作をご紹介します。



教員



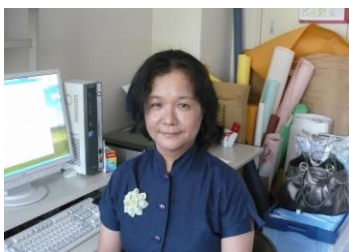
金久保 紀子



亀田 千里



山崎 由紀子



吉田 麻子



小野寺 志津



関 裕子

日本語科目 担当教員

	2011年春学期	2011年秋学期
日本語 A [語彙・漢字]	山崎 由紀子	山崎 由紀子
日本語 B [読解]	小野寺 志津・関 裕子	金久保 紀子・亀田 千里 小野寺 志津
日本語 C [文型]	小野寺 志津・関 裕子	小野寺 志津・関 裕子
日本語 D [会話]	金久保 紀子・山崎 由紀子	金久保 紀子・山崎 由紀子
日本語 E [作文]	関 裕子	関 裕子
日本語 F [聴解]	吉田 麻子	吉田 麻子
日本の社会	亀田 千里	
社会参加活動		亀田 千里



あゆみ 2011 年度国際別科 修了文集

2012 年 3 月 8 日発行

編著者 2011 年度国際別科 教員と学生

発行者 2011 年度国際別科

発行所 筑波学院大学日本語教育準備室

〒305-0031 茨城県つくば市吾妻 3-1

電話番号 029-858-4811

2012 《無断複写・転載を禁ず》

【お世話になったサイト：使用素材サイト五十音順】

あんずいろ http://www8.plala.or.jp/p_dolce/index.html

自然いっぱい素材集 <http://www.ne.jp/asahi/syaraku/kichinyado/>

ヒバナ <http://hibana.rgr.jp/>

ひまわりの小部屋 <http://www.aikis.or.jp/~himafp/index.htm>

ゆんフリー写真素材集 <http://www.yunphoto.net/jp/>